

始良・伊佐地域 感染症情報

2019年第31週報 (7月29日~8月4日)

発行：始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部 発行日：令和元年8月8日

【お問合せ先】鹿児島県始良保健所 TEL (0995) 44-7956 / FAX (0995) 44-7969

感染症情報は、始良・伊佐地域振興局ホームページに掲載しています！

大口保健所管内で「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」、始良保健所管内で「咽頭結膜熱」の定点当たり報告数が多い状況です！

★ 全数把握疾患の報告数 ※ [] 内は本年累積患者報告数

種別	大口保健所管内	始良保健所管内	鹿児島県(速報値) ※修正される可能性があります。
一類感染症			
二類感染症		結核(結核性胸膜炎) 1 [10]	結核9 [219]
三類感染症			腸管出血性大腸菌感染症3 [29]
四類感染症			
五類感染症			梅毒1 [33], 百日咳4 [594]



○ 腸管出血性大腸菌感染症

県内で、腸管出血性大腸菌感染症の患者が、4週連続で報告されています。感染予防・感染拡大防止のため、調理の前、生肉に触ったとき、配膳前、食事前、トイレ後、オムツ交換後、動物に触れた後等の液体石けん・流水での手洗いの徹底と生肉等を調理する際の中心部までの十分な加熱が重要です(腸管出血性大腸菌は、中心部が75℃、1分間以上の加熱で死滅します。)また、バーベキューや焼き肉等では、「生肉用の箸(又はトング)」と「食するときの箸」を分けましょう。

★ 定点把握疾患の報告数

定点報告疾患	警報基準値		注意報基準値	大口保健所管内				始良保健所管内				県全体		
	開始基準値	終息基準値		1週前	今週		1週前	今週		今週				
				定点当たり報告数	報告数(人)	定点当たり報告数	前週からの増減	定点当たり報告数	報告数(人)	定点当たり報告数	前週からの増減	報告数(人)	定点当たり報告数	前週からの増減
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	0.00	0	0.00	→	0.27	3	0.27	→	14	0.15	↗
RSウイルス感染症	-	-	-	0.00	2	2.00	↗	1.71	18	2.57	↗	133	2.46	↗
咽頭結膜熱	3.00	1.00	-	0.00	0	0.00	→	2.29	26	3.71	↗	67	1.24	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00	4.00	-	2.00	4	4.00	↗	0.57	8	1.14	↗	80	1.48	↗
感染性胃腸炎	20.00	12.00	-	0.00	0	0.00	→	5.00	36	5.14	↗	261	4.83	↗
水痘	2.00	1.00	1.00	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	11	0.20	↗
手足口病	5.00	2.00	-	5.00	0	0.00	↓	1.57	4	0.57	↓	96	1.78	↓
伝染性紅斑	2.00	1.00	-	0.00	0	0.00	→	0.57	3	0.43	↓	41	0.76	↗
突発性発しん	-	-	-	1.00	0	0.00	↓	1.14	5	0.71	↓	32	0.59	↓
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	-	5.00	0	0.00	↓	1.14	23	3.29	↗	80	1.48	↗
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	0.00	0	0.00	→	0.14	0	0.00	↓	2	0.04	↓
急性出血性結膜炎	1.00	0.10	-	/	/	/	/	0.00	0	0.00	→	1	0.14	↗
流行性角結膜炎	8.00	4.00	-	/	/	/	/	2.00	4	4.00	↗	25	3.57	↗
細菌性髄膜炎	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	0.00	→	
無菌性髄膜炎	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	0.00	→	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	2	0.17	↗
クラミジア肺炎	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	0.00	→	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	1	0.08	↗
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	-	0	0	/	→	0	0	/	→	集計中	/	→

※ 警報・注意報の「-」は対象としないことを意味します。

※ 警報・・・赤字の太枠部分, 注意報・・・斜体文字で黄色の網掛け部分

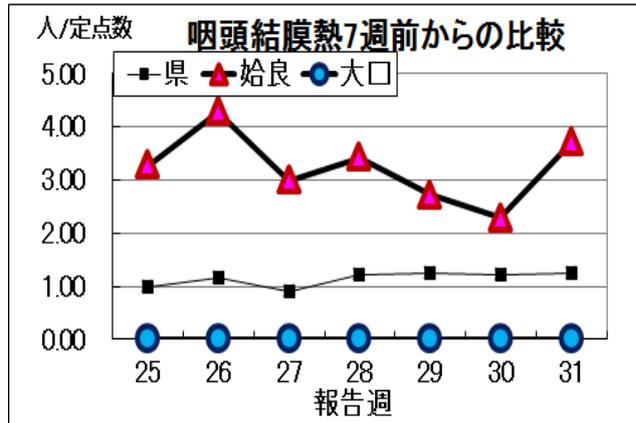
☆今週の主な感染症の動向

始良保健所管内が、第23週から流行発生警報レベルです！

○咽頭結膜熱

今週、**大口保健所管内**における咽頭結膜熱の患者報告はありません。

始良保健所管内の患者報告数は、前週より10人多い26人(定点当たり3.71人)に増加し、9週連続で流行発生警報基準値^{※1}を超えています。患者の年齢は、9割が5歳以下です。**県全体**では、前週より2人多い67人(定点当たり1.24人)に減少しています。感染予防策は、流水と液体石鹸による手洗い、器具については、煮沸、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が必要です。

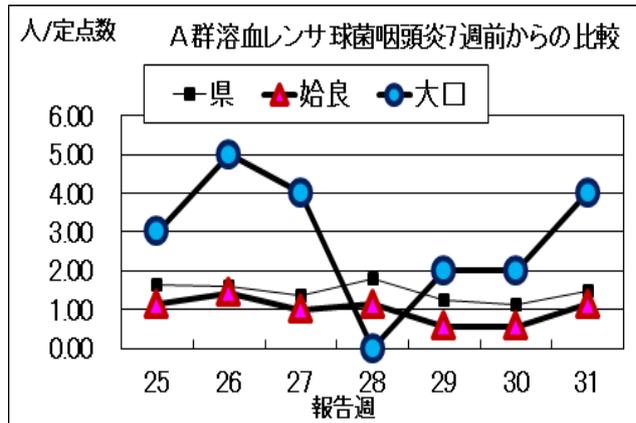


※1 咽頭結膜熱の流行発生警報基準値：開始基準値定点当たり3.00人，終息基準値1.00人

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

今週、**大口保健所管内**におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者報告数は、4人(定点当たり4.00人)に増加しました。

始良保健所管内の患者報告数も、前週より4人多い8人(定点当たり1.14人)に増加しました。**県全体**では、前週より20人多い80人(定点当たり1.48人)に増加しています。年齢群別では、5~9歳(定点当たり0.70人)、0~4歳(0.52)が多い状況です。



☆感染症ではありませんが...

熱中症予防のために

消防庁によると、県内で、今週(7月29日~8月4日)、熱中症疑いで救急搬送された患者は、211人(昨年同時期131人)に上っています。

【熱中症とは】 高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく、室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

【熱中症予防のポイント】 **室内**では、扇風機やエアコンで温度を調節し、遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用し、気温上昇を防ぎましょう。また、部屋の温度をこまめにチェックしましょう。**外出時**には、日傘や帽子を着用し、日陰を利用しましょう。**からだの蓄熱を避けるため**に、通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣類を着用し、保冷剤・氷・冷たいタオル等でからだを冷やしましょう。室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分(経口補水液等)を補給しましょう。また、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標である**暑さ指数(WBGT)**を参考に日常生活を送りましょう。詳細は、環境省熱中症予防情報サイトを御参照ください。

